

授業科目名 (英文名)	Listening and Speaking 2 英語 L S 2 (S 1)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1年次・後期
担当教員	友繁 義典	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>講義目的及び到達目標</p> <p>1) 様々な場面における英会話を理解し発話することができる</p> <p>2) 様々な英語の音声を聞いて理解することができる</p> <p>3) 上記の英語の音声の内容について感想や意見を発話することができる</p> <p>英語のリスニングとスピーキングに必要と思われる重要な知識やスキルを身につけ、実際の場面で様々な事柄を英語でやり取りができることが求められる。</p>		
講義内容・授業計画	<p>日常的によく使われている英語の慣用表現を学習しながら、リスニングとスピーキングのスキルを磨く。</p> <p>第1回 イン트로ダクション 授業の内容、進め方などの説明</p> <p>第2回 Lesson 1 感情にまつわる表現、Lesson2 身体にまつわる表現</p> <p>第3回 Lesson 3 旅行・観光にまつわる表現、Lesson 4 比較を表す表現</p> <p>第4回 Lesson 5 成功と失敗の表現、Lesson 6 好き嫌いの表現</p> <p>第5回 Lesson 7 飲食にまつわる表現、Lesson 8 時間にまつわる表現</p> <p>第6回 Lesson 9 反復表現、Lesson 10 大学・教育にまつわる表現</p> <p>第7回 Lesson 11 関係にまつわる表現、Lesson 12 健康と病にまつわる表現</p> <p>第8回 Lesson 13 怒りにまつわる表現、Lesson 14 スポーツにまつわる表現</p> <p>第9回 Lesson 15 コンピュータにまつわる表現、Lesson 16 性格を描写する表現</p> <p>第10回 Lesson 17 人にまつわる表現、Lesson 18 金銭にまつわる表現</p> <p>第11回 Lesson 19 「as形容詞as名詞」型の決まり文句、Lesson 20 喜びと悲しみの表現</p> <p>第12回 Lesson 21 色にまつわる表現 (part1) ,Lesson 22 色にまつわる表現 (part 2)</p> <p>第13回 Lesson 23 音楽にまつわる表現、Lesson 24 生き物にまつわる表現 (party 1)</p> <p>第14回 Lesson25 生き物にまつわる氷原 (part 2)、Lesson 26 植物にまつわる表現</p> <p>第15回 Lesson 27 気象にまつわる表現、Lesson 28 頻度の高い成句</p>		
テキスト	<p>Communicative English for listening and speaking コミュニカティブ・イングリッシュ 28章</p> <p>友繁義典 & Robin Eve 著、英宝社（生協等で購入する）</p>		
参考文献	<p>ネイティブの発想を知る 英語イディオム222 友繁義典/ジョージマノ 著、三修社</p>		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準</p> <p>授業で学んだ英語表現を習得している者に単位を授与する。講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じて成績を与える。</p> <p>成績評価の方法</p> <p>成績は、日頃の授業態度、出席状況、試験などを総合して評価する。平常点40%、試験60%とする。</p>		
履修上の注意・履修要件	<p>毎回予習をして授業に臨むこと。予習なき出席は基本的に認めない。</p> <p><新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業></p> <p>・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末や Wi-Fi 環境) が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修要録後に決定・連絡します。</p>		

実践的教育	該当しない
備考	試験などについては、その都度アナウンスする。